

# 創立20周年を迎えて **ご挨拶**

## Yasunori Nagai

理事長 **永井康徳**



介護保険制度が始まった2000年、私は在宅医療専門クリニックを開業しました。外来も病棟も持たずに在宅患者に特化した医療を行うクリニックは、当時愛媛県で初めてでした。開業当時は、患者さんから「医師が家に来てくれるなんて!」と驚かれたものでした。患者さんを自宅で看取ると、「こんな状態でも家で看取れるのか」とも言われました。患者さんが病院を退院する際の話し合いでも、「患者はこんな状態なのに、退院させて家で看られるのか」と聞かれたこともあります。しかし時間が経つにつれ、「近所の人たんぼぼクリニックに診てもらい、自宅で看取ってもらったので、うちもお願いします」という人が増えてきました。気が付くと、人口50数万人の松山市に今では10カ所の在宅医療専門クリニックがあり、自宅での看取りを希望する数多くの患者に対応できるだけの十分な能力を持つ「在宅療養支援診療所」も増えました。「地域の在宅医療のレベルが上がると、地域の在宅医療のニーズが大きくなる」、私はこのことを実感してきました。そのため、在宅医療の普及には、在宅医療を知らない人に伝えていくことが不可欠だと考えています。

早いもので本年、開業20周年を迎えます。おかげさまでこれまで3,000人以上の在宅患者さんの看取りや療養に関わらせていただきました。これまでを振り返って思うのは患者さん一人ひとりのエピソードがドラマだということです。在宅医療に対する技術や理念が不十分だった頃から、私は患者さん・ご家族の方から多くのことを学び、成長させていただいたと思います。患者さんから教えていただいたたくさんの方のことを、当院の職員はもちろん、地域の方々と共に共有し、より質の高い在宅医療の普及に役立てていきたいと思っています。今後とも医療法人ゆうの森をどうぞ宜しくお願いいたします。



専務理事 **木原信吾**

## Shingo Kihara

私の入職は、たんぼぼクリニック開設後半年してからでしたが、初めて当時の久万ノ台の小さな事務所に出勤した時のことを今でも鮮明に覚えています。医療という未知なる世界に飛び込む不安な気持ちを感じつつも、しかしそれを遙かに上回る希望とやる気に満ちた高揚感を感じていました。それは、きっと、他に前例のない訪問診療専門のクリニックを立ち上げた理事長の在宅医療に賭ける熱い思いを知り、そのチャレンジに自分の気持ちも大いに燃え上がっていたからだと思います。

しかし現実には厳しく、当時は未だカテゴリーとして存在しない「在宅医療」を希望する患者さんを確保するのはなかなか難しいことでした。患者紹介を受けるため、来る日も来る日も病院やケアマネさん廻りを行っていたある日、理事長が講演者として呼ばれたとある患者会で遠方の町から来たという一人の男性に私たちは声を掛けられました。「私の町にはいつ出て来てくれるのですか? 私は病気で病院にも行きにくいし、休日や夜間は大きな不安を抱えて生きています。だから家に診に来てくれて、夜間でも休日でも対応してくれる、そういう医療機関を待ち望んでいるんです!」と言われました。この時、私達のようなスタイルの医療機関を待ち望んでいる人がいるのだということを初めて実感し、また患者集めに苦しんでいた私達は随分と励まされたような気持ちになりました。

今は未だ誰もやっていないけど、きっとこれから世の中に必要とされる、だから自分達が在宅医療の扉を切り開き(気概は大きく)、多くの方が安心して在宅での療養生活を送り続けることができるような地域、社会に近づいていくことに貢献したい、フロンティアとしてその使命を果たしたいと強く誓ったのです。

それから20年、様々な患者様と出会い、多くの連携先の皆様、関わる事業者様、そして何と云っても在籍してくれた多くの職員に支えられ、在宅医療に取り組み続け、一步一步前進し、また多くのチャレンジや発信を通し在宅医療の発展に少しなりとも貢献できたのではないかと思います。出会ったすべての皆様に心より感謝し、そしてこれからも初心を忘れず、在宅療養を望まれる皆様に「たんぼぼで良かった、ゆうの森で良かった。」と言っていただけの組織であることを目指して努力を続けたいと思います。20年間、本当にありがとうございました。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。